

2026年3月期 第3四半期決算説明会(WEB 会議) Q&A サマリー

Q:半導体市場の変化について

A:3Q 後半から半導体市場の潮目が変わり需要が急増しております。

Q:半導体市場以外について

A:二次電池では、BEV 向け投資が先送りされている一方で、HEV 向けの需要は堅調に推移いたしました。自動機械では、ジェネリック医薬品向けの需要が一旦落ち着きましたが、一定の受注獲得ができました。また、はんだ印刷検査機においても特定地域で受注を獲得できました。

Q:工場稼働率について

A:半導体向けの各工場において稼働率は上昇傾向です。工場稼働率が上昇することで、今後利益面でも改善が期待できます。

Q:自動車市場について

A:来年度に向けてやや回復を見込んでおります。

Q:半導体のアプリケーション別の引き合い状況について

A:装置への採用率やお客様の出荷状況により異なるため、アプリケーション別の濃淡は申し上げにくいです。

Q:来期以降の焦点について

A:まずは新工場の稼働率を上げ、利益を生み出すことに注力しております。詳細については、5月の期末決算発表時にご説明いたします。

Q:通期業績を修正しなかった理由について

A:受注が急増し、受注の中には今期分と来期分が混在しており、精査することが難しく修正いたしませんでした。

以 上